



□ 養寿院と門前

旧城内では、通りから望む横道の突き当たりがお寺となることが多く、養寿院もかつての4門前の一つとして、風格のある景観をつくっている。寛元年間（1243～47）に河越経重（太郎重頼の曾孫）が開基し、天台宗から天文年間（1532～55）に曹洞宗に改宗されている。経重寄進による銅鐘（1260年作）は国の重要文化財となっており、また境内には河越重頼の墓とされるものがある。

